

## 令和元年度 文化資源活用補助金 採択事業一覧表

### ①歴史文化資源の活用につながる保存・修理事業

団体名	事業名	事業内容
一般社団法人高畑トラスト	「藤間家住宅」利活用促進・建築保全整備事業	H30年度文化資源活用補助金交付による整備改修を経て、国登録有形文化財となった「藤間家住宅」の整備事業。今回は、昭和期の改修時に、元の建築構造に被せた部分を、明治以前の状態に復する改修を行う。
平群町	剣上塚古墳出土馬具保存処理事業	町指定史跡剣上塚古墳(古墳時代中期)から出土した金銅製馬具(町指定文化財:剣菱形杏葉)の保存修理。現状はさび等による劣化が激しいため、保存処理を実施することで調査研究や普及啓発のための展示などに利活用できるようにする。

### ②歴史文化資源活用のための周辺整備事業

団体名	事業名	事業内容
百済区	重要文化財百済寺三重塔周辺環境整備事業	重要文化財百済寺三重塔の周辺整備事業。昨年度実施した梵字池の景観柵への交換および解説板設置事業の継続的内容。今年度は残り部分の交換とともに、重要文化財百済寺三重塔の解説板を設置する。
川西町	国史跡島の山古墳周回道路防護柵改修および説明板設置事業	国指定史跡島の山古墳東側の周回道路ガードレールが経年劣化により景観を損ねている。また、子どもセンターが近辺にあり、安全性の向上も課題である。そこで景観および安全性に配慮した防護柵(平成29・30年度と同様の仕様)に更新し、古墳景観の向上を目指す。また同時に、古墳概要の説明板を設置することで、情報発信力の向上も行う。
NPO法人 信貴山観光協会	信貴山城址回遊道整備事業	信貴山観光協会では、5年間をかけて町史跡・信貴山城跡の整備清掃活動を継続してきた。今回は、この信貴山城跡を多くの方々に安全に見学して頂けるように、回遊道の整備(仮設階段、手すりの設置)並びに案内板(多言語化対応)を設置する。
川上村	土倉庄三郎翁顕彰屋外展示およびサイン整備事業	村指定文化財(歴史記念物)「土倉翁造林頌徳記念」岸壁碑文、「土倉翁屋敷跡」の野外展示と誘導サインの設置事業。説明板、案内サインの設置により、村史跡(土倉翁関連)、展示施設(森と水の源流館)とを結び、歴史文化の視点から、吉野林業を学べるエリアの整備を行う。
三宅町役場	太子道への誘導看板設置事業	聖徳太子が斑鳩と飛鳥を通った古代道「太子道」について、駅から太子道まで約1kmの間に目印が無く、町外からの訪問者に不便な状況である。そこで三宅町内の主要駅である石見駅から太子道へと誘導する看板を4カ所設置し、スムーズにたどり着ける環境を整備する。

## 令和元年度 文化資源活用補助金 採択事業一覧表

団体名	事業名	事業内容
三郷町	万葉故地説明板多言語及び動画QRコード設置事業	既に、龍田古道沿線の故地に万葉歌と故地の解説板を設置しているが、今回は、既設の解説板(三室山遊歩道・関地蔵・神奈備神社)の多言語化および音声化を行うとともに、QRコードを既存看板に追加する。
宇陀市	宇陀市指定文化財説明板整備事業	国重要文化財片岡家住宅・県指定文化財片岡家文書と県指定史跡奥之芝1号墳の説明板を設置する。
奈良市	芳徳寺ほか文化財解説板製作設置事業	市民・来訪者に奈良の文化財の内容・魅力を広く周知・理解を深めてもらうため、市内指定文化財、登録有形文化財など6カ所を対象に解説板を設置する。
宗教法人 文殊院	重要文化財白山堂見学区域拡大事業	室町時代末期造営の重要文化財白山堂の歴史文化資源説明力向上にかかる事業。現在白山堂は、木製柵が囲っており、正面からしか見ることができない。この外周柵は劣化も進行しているため、景観に配慮した柵に交換するとともに、四周から建物を見ることが出来るようにする。
かつらぎ煌ネットワーク	「葛城三十八景」の漢詩を活用した文化財説明板設置事業	「葛城三十八景」は江戸時代元禄期に葛城出身の儒学者高橋遠治が選定し情景を詠んだ漢詩。この漢詩を紹介するとともに、漢詩に詠み込まれた文化財等を紹介する説明板を3カ所に設置する。
特定非営利活動法人うぶすな企画	宮山塚古墳おしま池を中心とした歴史文化公園づくり	NPO法人および地元住民による、県指定宮山塚古墳を中心とした歴史公園の整備。古墳に接しない池岸を石積みして整備し、親水設備(汀「みぎわ」)を作る。土手・堤の植栽、舗装等により遊歩道を整備する。
赤膚山元窯保存会	赤膚焼展示施設整備事業	江戸時代、大和郡山藩柳澤家により保護されてきた赤膚焼山元窯の展示施設の整備を行う事業。国登録有形文化財の建物内には、歴史・考古資料を展示するためのガラスケースを設置し、展示公開に資することを目的とする。
榮山寺	榮山寺内重要文化財保存事業および説明板の設置	重要文化財石灯笼と七重塔の安全柵設置や、重文木造薬師如来坐像・木造十二神将立像をおさめる本堂前階段の手すり設置、および国宝梵鐘・八角堂と重要文化財八角堂内陣の装飾画に関する説明板を設置する。

## 令和元年度 文化資源活用補助金 採択事業一覧表

団体名	事業名	事業内容
宗教法人 春日大社	重要文化財 直会殿等歴史的空間活用事業	重要文化財である春日大社直会殿の活用整備事業。直会殿を能狂言の舞台空間として活用をはかるための整備として、幕末近代の奈良一刀彫の森川杜園筆松図鏡板を設置する。

### ③歴史文化資源の普及啓発のためのイベント事業

団体名	事業名	事業内容
吉野大峯世界遺産 登録15周年記念事業協議会	吉野大峯世界遺産登録15周年 記念シンポジウム	金峯山寺聚法殿で、吉野大峯世界遺産登録15周年記念シンポジウムを開催する。世界遺産「吉野大峯」の魅力を広く発信し、幾度となく吉野へお越しいただくきっかけとする。
NPO法人 信貴山観光協会	信貴山城址保全研究会 特別講演会	城郭研究の第一人者を招き、パネルディスカッションを開催。会場内では、各市町村や多聞城ファン倶楽部によるブース出展やパネル展示を用いた奈良県のPRも実施する。
一般社団法人 まほろば芸術ラボ	～万葉からの祈り～ コンサートVol.1.	大神神社など歴史ある社寺を舞台に、世界で活躍するアーティストのコンサートを開催。公演前には各寺社のいわれや歴史的価値などをレクチャーし、会場となる寺社や土地の歴史的価値を知っていただく機会とする。
奈良町にぎわいの家 管理共同体	奈良町・古代の痕跡 探索プロジェクト	ならまちセンターで奈良町に残る古代の歴史文化遺産を伝える講演会を開催。講演会の後、奈良町に残る万葉の歌と古代の痕跡を探るウォークイベントを開催。
公益財団法人 斑鳩町文化振興財団	奈良・斑鳩歴史講座 ～聖徳太子の文化と法隆寺～	聖徳太子を中心とした歴史文化資源に関する講演会及びパネル展示を実施。聖徳太子を中心とした斑鳩の歴史文化資源の紹介や文化財と地域社会との関わり方を考えることで多くの方に、奈良・斑鳩の魅力を感じてもらう。
公益財団法人 斑鳩町文化振興財団	第13回 斑鳩雅楽フェスティバル ～雅楽幽遠の奏～	雅楽の成り立ちを紹介する講演や雅楽演奏によるイベントを開催。雅楽の魅力や成り立ちの歴史を伝えることで、参加者の雅楽に対する理解を深め、伝統芸能の継承を図る。

## 令和元年度 文化資源活用補助金 採択事業一覧表

団体名	事業名	事業内容
特定非営利活動法人 奈良まほろばソムリエの会	ざっくりわかる！万葉講座	『万葉集』をテーマに東京、奈良の2箇所で、講演会を実施する。JR「万葉まほろば線」を使ったウォーキングツアーも実施し、座学だけでなく実際のゆかり地を巡る体験企画を交え、県内外から万葉の故地への誘客を図る。
わらしべ長者連合会	記紀万葉のふるさと「記紀万葉に綴られた煌き桜井の第4幕」隠国の初瀬谷・わらしべ長者の里	わらしべ長者物語の舞台となり、記紀万葉にも登場する初瀬谷の地でウォークイベント、フリーマーケットを実施。初瀬谷の歴史を紹介した冊子の配布や、ガイドによる解説等を行い、多様な層に初瀬谷の歴史や文化資源を知ってもらう。
たかとり観光ボランティアガイドの会	阿波野青畝生誕120周年記念俳句コンテスト	俳人の阿波野青畝120周年を記念し、小学生から一般までを対象にした俳句コンテストを実施。併せて町内の小・中・高校では講座を開催し、阿波野氏の句を通して高取町の歴史を紹介する。
平城宮跡周辺観光活性化実行委員会	仏教音楽と雅楽の鑑賞会	平城宮内で執り行われていた儀式を海龍王寺で再現した鑑賞会を実施。奈良時代に儀式で奉じられた仏教音楽と雅楽を通し、平城宮と宮の構成要素である宮廷寺院の存在の意味を伝え、かつての平城宮や宮廷寺院の歴史等への興味を促す。
榮山寺ファンの会	藤原武智麻呂を偲ぶ会	天平時代を代表する絵画など数多くの文化財がある榮山寺で講演会を実施。榮山寺内の八角堂や装飾画といった五條市ゆかり文化財の魅力についての解説等を行い、文化財の魅力や大切さを伝え、後世へ継承していくことを目的とする。
あかり祭り実行委員会	あいさこいさ祭り 秋の伊勢街道あかり祭り	宇陀市内の歴史文化資源(墨坂神社、旧旅籠・あぶらや、他)を中心に、古い町並みをロウソクのあかりで照らす催しを実施する。今年度は地元の小学5年生を対象に、オリジナルロウソク作りを行う。
鯨椅子project	鯨椅子project #8「はがれおちる」	旧川本家住宅や登録有形文化財に登録された経緯や、今後の活用方法などをテーマに町家物語館を活かした演劇イベントを行う。今年度はさらに理解を深めるために町家物語館(旧川本家住宅)の文化遺産価値をテーマにしたパネルディスカッションを実施する。
特定非営利活動法人 八木まちづくりネットワーク	歴史的町並「八木札の辻界隈」のまち歩き等事業	八木札の辻界隈は日本風景街道に認定され、日本最初の官道横大路と下つ道の交差点に位置する。人々の交流、文化の伝搬の結節点である当地を紹介するため、八木札の辻界隈の歴史や歴史的町並みをテーマとした講演会と町歩きを実施し、多くの人に八木札の辻界隈の魅力を知ってもらう。

## 令和元年度 文化資源活用補助金 採択事業一覧表

団体名	事業名	事業内容
歴史フェスティバル 実行委員会	第8回おもしろ歴史フェスティバル 「歴史を愉しむ！！」	特に中南和地域の歴史・文化財の魅力を発信するため、馬見丘陵公園で令和をテーマとする歴史・文化財についての有識者の講演、参加体験型の記紀・万葉謎解きゲームなどを2日間にわたり実施する。
灯の路と大とんど 実行委員会	灯の路と大とんど	多神社を中心とした地域の歴史文化のアピール及び魅力を発信するイベントを実施。今年度は記紀万葉をテーマとしたかるた大会などのイベントや「太安万侶」を紹介したチラシの配布なども行う。